

## 資料編

---

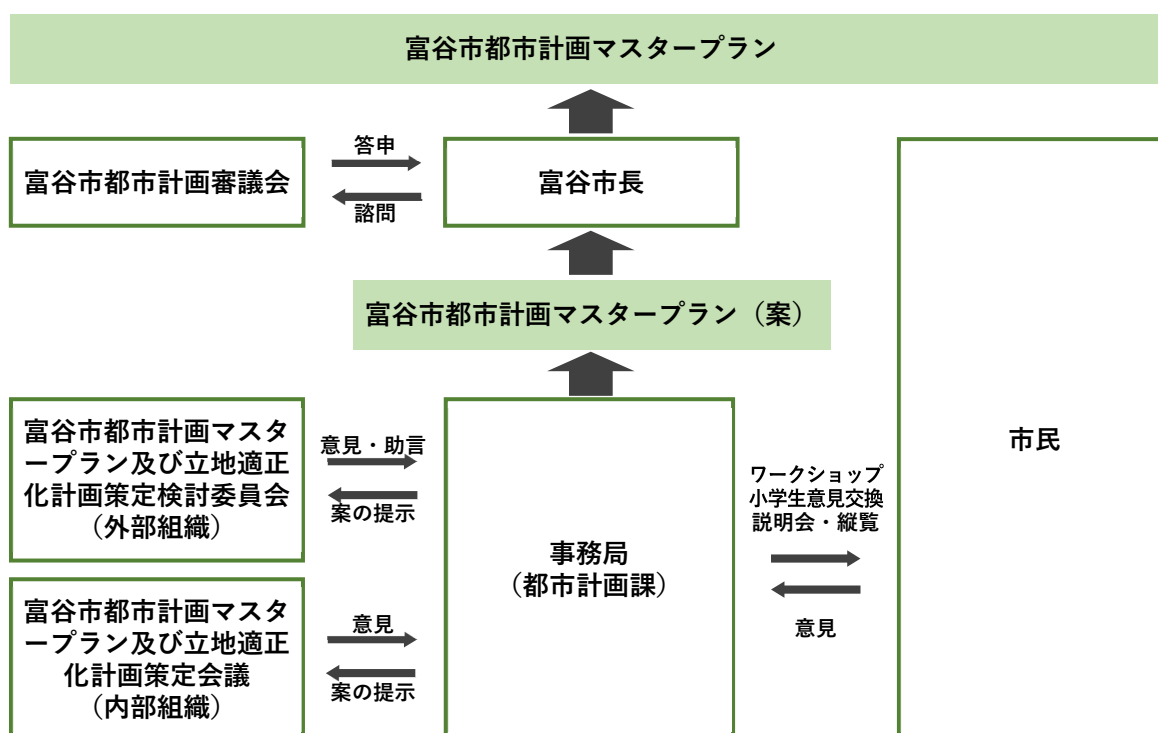
資料編では、富谷市都市計画マスタープランの策定体制や  
計画書内の用語について記載しています。



## (1) 策定体制

本マスタープランの検討組織は、事務局のほか、学識経験者や各種関係機関の職員などで組織する「富谷市都市計画マスタープラン及び立地適正化計画策定検討委員会」と、市の職員で組織する「富谷市都市計画マスタープラン及び立地適正化計画策定会議」によって構成されます。委員会等で検討した案は、説明会や縦覧等による市民意見の取り入れを行ったのち、富谷市都市計画審議会において審議され、「富谷市都市計画マスタープラン」が決定されます。

<富谷市都市計画マスタープランの策定体制>



<令和4年度>

富谷市都市計画マスタープラン及び立地適正化計画策定検討委員会 委員名簿

氏名	役職等	備考
風見 正三	宮城大学 理事兼副学長	委員長
宮原 育子	宮城学院女子大学 教授	副委員長
佐々木 秀之	宮城大学 准教授	
松田 勝幸	くろかわ商工会 富谷支部長	
小松 明巳	おんないん会 会長	
鈴木 俊介	宮城交通(株) 次長兼計画課長	
加勢 幸美	東向陽台小学校 校長	
新木 順子	婦人防火クラブ 会長	
田中 誠柳	仙台河川国道事務所 所長	
三浦 麻美	富谷第二中学校 PTA 会長	

富谷市都市計画マスタープラン及び立地適正化計画策定会議 委員名簿

氏名	役職等	備考
若生 裕俊	市長	会長
稲村 伸	副市長	副会長
及川 芳彦	教育長	
尾形 昭範	技監	
三浦 敏	教育次長	
石井 真吾	企画部長	
富澤 裕	総務部長	
須藤 弥生	市民生活部長	
菅原 順子	保健福祉部長	
狩野 悦子	保健福祉部次長	
吉田 尚樹	経済産業部長	
渡邊 正弘	建設部長	
相澤 美和	教育部長	
高清水 英樹	市長公室長	

富谷市都市計画マスタープラン及び立地適正化計画策定検討委員会・策定会議 事務局名簿

氏名	役職等	備考
高田 浩幸	都市計画課 課長	
三浦 郁	都市計画課 課長補佐	
渡辺 裕貴	都市計画課 技術主幹	
三浦 隆祐	都市計画課 技師	



<令和5年度>

富谷市都市計画マスタープラン及び立地適正化計画策定検討委員会 委員名簿

氏名	役職等	備考
風見 正三	宮城大学 理事兼副学長	委員長
宮原 育子	宮城学院女子大学 教授	副委員長
佐々木 秀之	宮城大学 准教授	
松田 勝幸	くろかわ商工会 富谷支部長	
小松 明巳	おんないん会 会長	
鈴木 俊介	宮城交通(株) 次長兼計画課長	
加勢 幸美	東向陽台小学校 校長	
新木 順子	婦人防火クラブ 会長	
田中 誠柳	仙台河川国道事務所 所長	
三浦 麻美	富谷第二中学校 PTA 会長	

富谷市都市計画マスタープラン及び立地適正化計画策定会議 委員名簿

氏名	役職等	備考
若生 裕俊	市長	会長
武内 浩行	副市長	副会長
及川 芳彦	教育長	
鹿野田 忠之	教育次長	
樫尾 浩和	企画部長	
富澤 裕	総務部長	
須藤 弥生	市民生活部長	
狩野 悦子	保健福祉部長	
松原 誠	経済産業部長	
神田 能成	建設部長	
相澤 美和	教育部長	
原 伴恵	市長公室長	

富谷市都市計画マスタープラン及び立地適正化計画策定検討委員会・策定会議 事務局名簿

氏名	役職等	備考
高田 浩幸	都市計画課 課長	
織田 利彦	都市計画課 課長補佐	
渡辺 裕貴	都市計画課 技術主幹	
三浦 隆祐	都市計画課 技師	

## (2) 策定経緯

令和4年度

年月日	会議等	内容
令和4年7月25日	第1回策定検討委員会	・都市の将来像及び将来都市構造について
令和4年8月19日	第1回策定会議	・都市の将来像及び将来都市構造について
令和4年11月2日	第2回策定検討委員会	・都市計画マスタープラン 部門別方針について ・立地適正化計画 誘導区域設定等について ・第1回委員会の意見に関する対応について
令和4年11月18日	第2回策定会議	・都市計画マスタープラン 部門別方針について ・立地適正化計画 誘導区域設定等について
令和4年12月23日	第3回策定検討委員会	・第2回委員会の意見に関する対応について ・都市計画マスタープラン全体構想(案)について ・立地適正化計画(案)について
令和5年1月13日	第3回策定会議	・都市計画マスタープラン全体構想(案)について ・立地適正化計画(案)について
令和5年1月18日	説明会	・都市計画マスタープラン全体構想(案)について ・立地適正化計画(案)について
令和5年1月24日 ～2月7日	縦覧	・都市計画マスタープラン全体構想(案)について ・立地適正化計画(案)について
令和5年2月10日	第4回策定検討委員会	・第3回委員会の意見に関する対応について ・説明会及び縦覧の結果について
令和5年2月17日	第4回策定会議	・第3回会議の意見に関する対応について ・説明会及び縦覧の結果について
令和5年2月24日	富谷市都市計画審議会	・都市計画マスタープラン全体構想(案)について ・立地適正化計画(案)について
令和5年3月30日	都市計画マスタープラン (全体構想)公表	

令和5年度

年月日	会議等	内容
令和5年7月22日	第1回まちづくりワークショップ (西部地域、東部地域)	・地域の魅力と課題
令和5年8月5日	第1回まちづくりワークショップ (北部地域、南部地域)	・地域の魅力と課題
令和5年9月15日	第1回策定検討委員会	・第1回まちづくりワークショップの開催状況について ・都市計画マスタープラン地域別構想(案)について
令和5年9月29日	第1回策定会議	・第1回まちづくりワークショップの開催状況について ・都市計画マスタープラン地域別構想(案)について
令和5年10月21日	第2回まちづくりワークショップ (西部地域、東部地域)	・地域のまちづくりの理念と目標
令和5年10月28日	第2回まちづくりワークショップ (北部地域、南部地域)	・地域のまちづくりの理念と目標
令和5年12月12日	第2回策定検討委員会	・第2回まちづくりワークショップの開催状況について ・都市計画マスタープラン(案)について
令和5年12月22日	第2回策定会議	・第2回まちづくりワークショップの開催状況について ・都市計画マスタープラン(案)について
令和6年1月16日	説明会	・都市計画マスタープラン(案)について
令和6年 月 日 ～ 月 日	縦覧	・都市計画マスタープラン(案)について
令和6年2月9日	第3回策定検討委員会	・説明会及び縦覧の結果について
令和6年 月 日	第3回策定会議	・説明会及び縦覧の結果について
令和6年 月 日	富谷市都市計画審議会	・都市計画マスタープラン(案)について
令和6年 月 日	都市計画マスタープラン 公表	

### (3) 第1回ワークショップ

本マスタープラン（地域別構想）第1回ワークショップは、以下の内容で実施した。



#### 富谷市都市計画マスタープラン（地域別構想） 第1回ワークショップ

##### 次 第

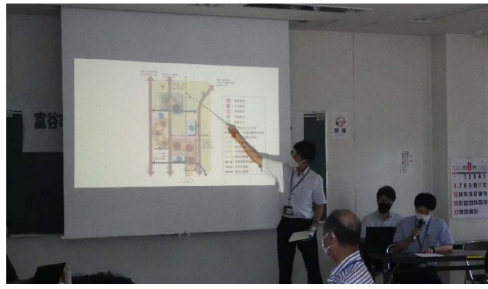
- 1) 開 会
- 2) 挨拶 建設部長
- 3) 令和4年度都市計画マスタープラン（全体構想）  
及び立地適正化計画策定の概要について
- 4) ワークショップの開催目的について
- 5) グループディスカッション  
講師：宮城大学 佐々木秀之准教授
  - 進め方の説明
  - ワークショップ  
「10年後も住み続けたいまちにするために～魅力と課題～」
  - グループ発表
  - 講 評
- 6) 閉 会
- 7) 写真撮影



富谷市建設部都市計画課

① 北部地域

説明の様子(市、宮城大学佐々木准教授)



ワークショップの様子(Aグループ)



ワークショップの様子(Bグループ)



グループ発表の様子





## 『10年後も住み続けたいまちにするために ～魅力と課題～』

### コミュニティ

- 富谷の中で高齢化率が高い
- 旧富谷の中心地
- 子育てによさそうなイメージ
- 医療費が18歳まで無料
- 離農者の増加
- 税金が高い
- 町内会が機能している
- 広報の宅配(区長さん)
- 災害・犯罪の増加
- 町中地区は古くから同じ住民が暮らしているの住みやすい
- 市の財政が弱い※企業
- 一般的に市政対応が早い
- 仙台のベッドタウン
- 広報がおもしろい
- マーチングがさかん

### 自然・環境

- イノシシ対策
- 静か
- 雪かきが大変凍って溶けない
- 田園を管理する人少ない
- イノシシが多い
- 自然豊か
- 市役所の桜がきれい
- 自然豊か
- 桜がある
- お花見ができる公園、川(かみい)
- 自然 田、畑、川、緑、山
- 自然が多い
- “田園都市”
- 熊が出る

### 観光・歴史・景観

- 景色が良い(船形)
- 代官松
- 新町街道 まち並みGood!
- 見晴らし良い!!
- 跡地が残っている
- 内ヶ崎別邸(歴史)
- 内ヶ崎酒蔵(歴史資源)
- せつかく特産物があるのにまいち知れ渡っていない
- 田園風景

### 防災・災害対策

- 新町、ひより台等は地盤が強い!!
- 災害のリスクが低い

### 店舗・生活利便施設

- 富谷カントリーがある
- 近くにゴルフ場が多い
- 居住環境が良い(大型スーパー等)
- コストコがある
- 施設がまとまっている
- 国道沿いの店が弱い
- もっとお店あった...?
- スーパーがほしい
- 小型商店が減
- 商業面で仙台に頼りがち、高校以上も

### 公共施設

- 運動公園施設をきれいに!!
- スポーツセンターなどの施設がある
- 病院が近い
- 高齢者用施設がある
- スポーツセンターがただの体育館
- 近くに公園がある
- コンサート会場がない
- とみやどなに泊まれる宿がない
- 小規模で分散している
- 富宿のメリットがある?(地域住民のメリット...)
- 施設を活用しきれていない
- 大亀山公園 体力が必要なアスレチック※親は大変...
- 学校に近い
- 富ヶ岡公園
- 富谷病院
- 病院(小児科)が多い
- 市役所が近い
- 病院が多い(町医者)
- 特例校(NPOが運営)
- 不登校学生に対応した学校がある
- 中央公民館の坂道が車いすの方には大変
- 大きな病院がない

### 道路・交通

- 宮城の中心 仙台に近い
- 高速が近いIC
- アクセスがよい
- 車だと仙台に近い
- 交通のアクセスが良い
- バス停が近い
- 車がないと何もできない
- 公共交通機関が弱い(限定的)
- 新町街道市道・県道の管理一元化
- 大亀山のアクセスが良くない
- バスの便数少ない
- 仙台で飲んだら帰るのにお金かかる(代行4,500~6,000円)
- 循環経路をこまやかに
- 鉄道がない
- 車がないと不便(市民バス・オンデマンドマイチ)
- 町のシンボルロードみたいのがほしい
- 公共交通機関の選択肢が少ない 仙台中心部まで時間がかかる
- 新町地区通学路の整備が必要(歩道がない)
- 歩道の段差が多いベビーカーや車いすにとって大変
- ウォーキングロードサイクリングロード等の整備
- 昔ながらの街なので仕方ないかもしれないが道が狭い、交通量に対して

② 西部地域

説明の様子(市、宮城大学佐々木准教授)



ワークショップの様子(Aグループ)



ワークショップの様子(Bグループ)



グループ発表の様子





## 『10年後も住み続けたいまちにするために ～魅力と課題～』





③ 東部地域

説明の様子(市、宮城大学佐藤特任助教)



ワークショップの様子(Aグループ)



ワークショップの様子(Bグループ)



グループ発表の様子



## 『10年後も住み続けたいまちにするために ～魅力と課題～』

### コミュニティ・生活

**成田→石積**  
「ゆりかごから墓場まで」

**(市街地部)**  
分割しすぎて狭小住宅へ

昔から住んでいた人「人が増えすぎて…」

明石台 緑道→フェンス 地区計画を守らない…

子どもを産める施設がある

移住してくる人が多い

福祉

スーパー等にての買い物が便利(成田・明石台)

市外からも遊びに来る

津波が来ない

仙台に近い

**(田園部)**  
ビジネスチャンス!

農村エリアの維持!

少子化・人口減

移住できない

農地法の関係

制度上建物が建てにくい

移住特区あるといいな

安全な街

人々の交流がある

生活利便

田園の利活用

空家増

後継者不足(若者少ない)

宿泊施設ない→空家を使って民泊を!

### 文化・伝統・景観

景色がキレイ

北向きの鳥居(珍しい!)

初日の出スポット

田園風景

景観が良い(農業のおかげ)

### 施設、店舗(市街部)

素敵なレストラン多い

文教

にぎわいカフェエリア

お花屋さん 冬・焼き芋屋

街並み

商業充実

夏祭り

ショップが多い

公園に近い・多い

### 交通

渋滞

バス代高い

デマンドタクシー 送り迎え

通勤・バス便

車がないと生活ができない

痛学(通学の出費が痛い)特に高校生

交通やや不便 JR地下鉄駅なし

朝夕の交通量が多い

デマンドするにも…時間を合わせられない

家と(都市部)の距離感が丁度良い

自転車で走りやすい

田園だけど…

↓

仙台に近い!

自転車で坂道を走り転ぶ

### 自然

自然環境

自然豊

野鳥 サギ

野鳥エリア キジ・メジロ…

小鳥のさえずり

トンボ、イノシシ、チョウ、シジミ、ホタルが多い

カエルが鳴いている

トンボがいる

緑が多い

静か

昔はカワセミがいたのに…

農家に被害

猪

熊

### 施設、店舗(田園部)

おんないん会 スーパーに出荷

ドラム教室がある

養蜂場

商業施設集落部からすぐ

ゴルフ場

貸し農園

ゴルフ場が近い多い

ブルーベリー農家

大亀森林公園

西成田コミュニティセンター

↓

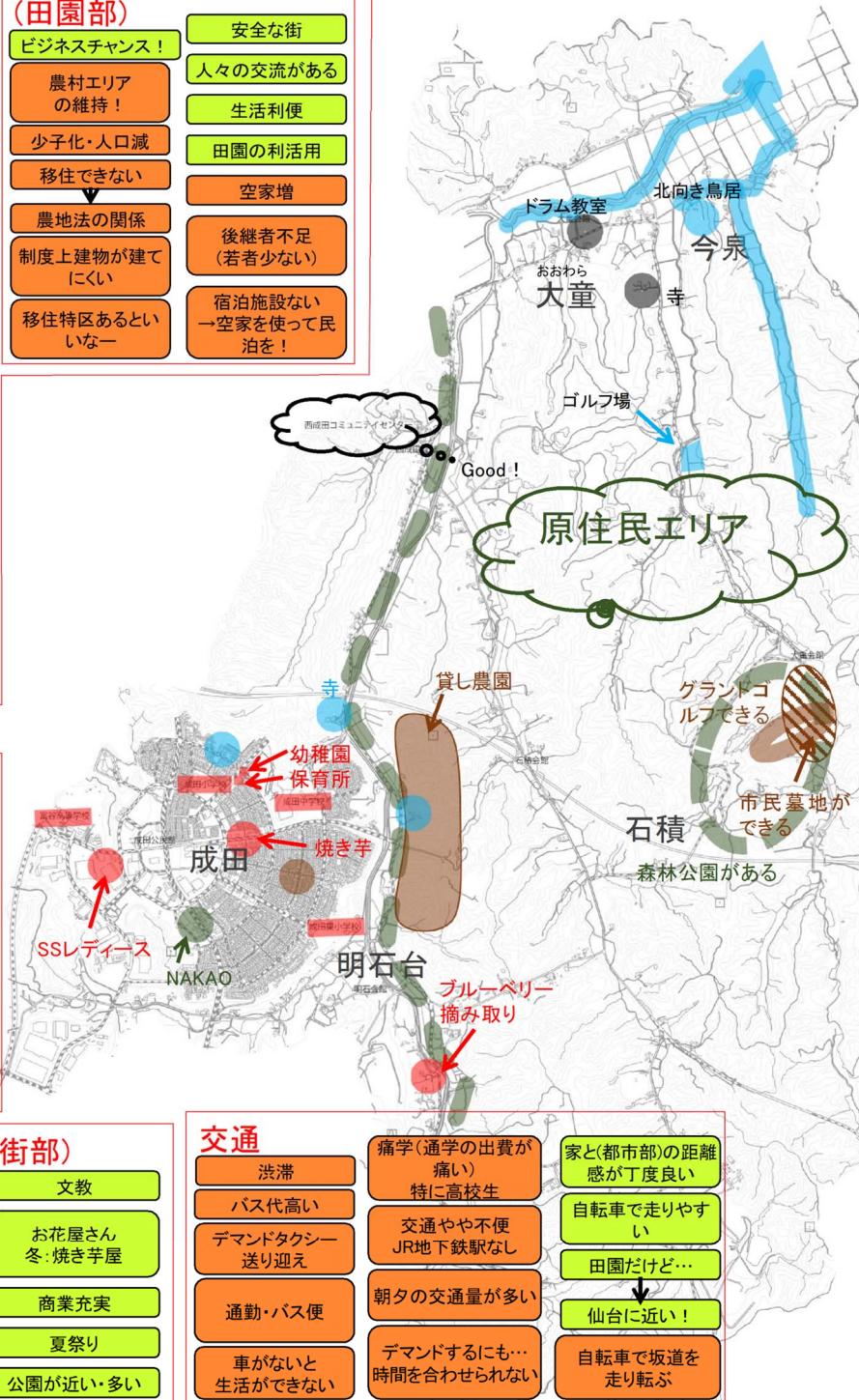
宿泊、おふるプールなど合宿に使える

屋内体育館みたいな施設欲しい

ブルーベリーどこでやっているかわからない

田園カフェがほしい

集いの場



■ 地域の魅力

■ 地域の課題



④ 南部地域

説明の様子(市、宮城大学佐々木准教授)



ワークショップの様子(Aグループ)



ワークショップの様子(Bグループ)



グループ発表の様子







#### (4) 第2回ワークショップ

本マスタープラン（地域別構想）第2回ワークショップは、以下の内容で実施した。



### 富谷市都市計画マスタープラン（地域別構想） 第2回ワークショップ

#### 次 第

- 1) 開 会
- 2) 第1回ワークショップの振り返りについて
- 3) 地域別構想（中間案）の説明について
- 4) グループディスカッション

講師：宮城大学 佐々木秀之准教授

○進め方の説明

○グループワーク

「まちづくりの理念とまちづくりの目標について」

○グループ発表

○講 評

5) 閉 会

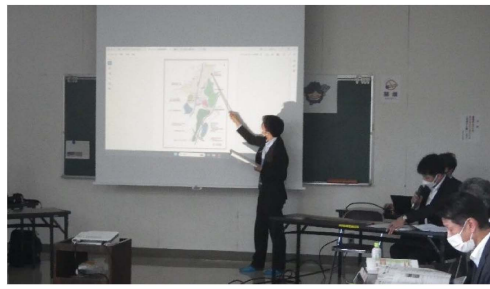
6) 写真撮影



富谷市建設部都市計画課

① 北部地域

説明の様子(市、宮城大学佐々木准教授)



ワークショップの様子(Aグループ)



ワークショップの様子(Bグループ)

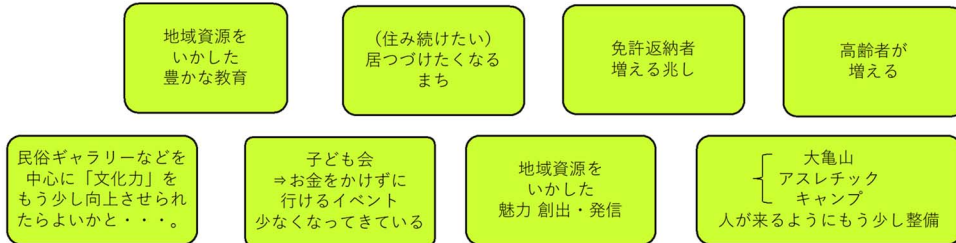


グループ発表の様子



## 歴史・文化を活かした暮らしを楽しめるまち

北部地域は、・・・

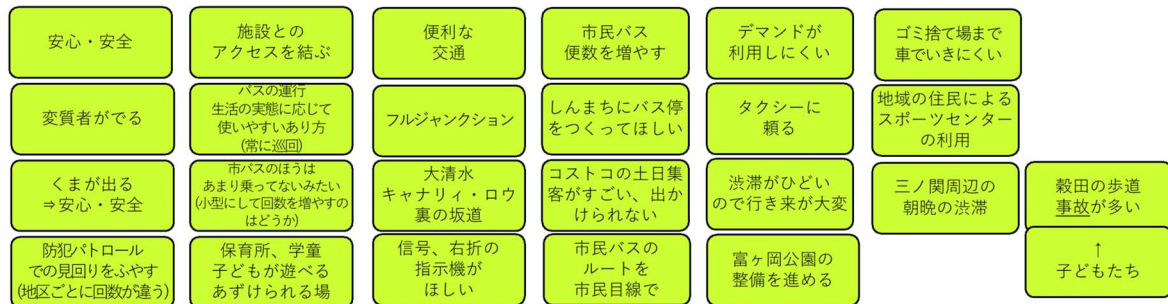


### < まちづくりの目標（案） >

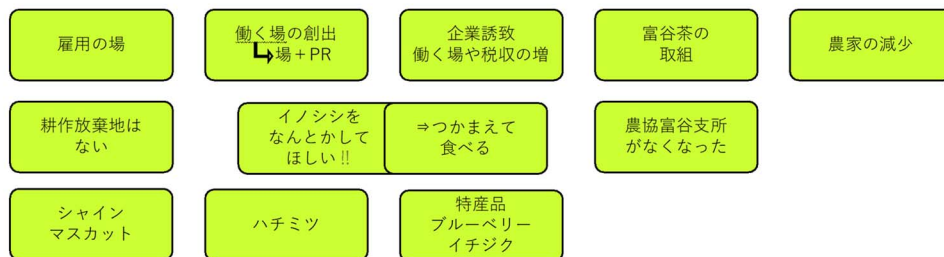
#### 目標 1：地域資源を活かした魅力の創出



#### 目標 2：日常生活サービス機能の維持



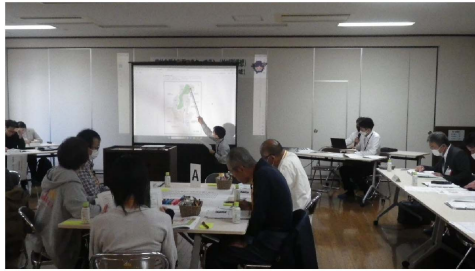
#### 目標 3：広域交通網を活かした産業の拡大





② 西部地域

説明の様子(市、宮城大学佐々木准教授)



ワークショップの様子(Aグループ)



ワークショップの様子(Bグループ)



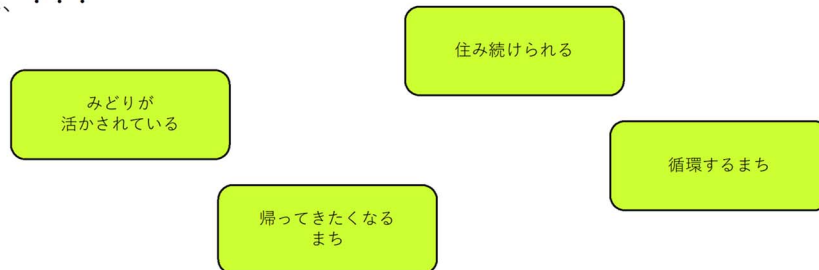
グループ発表の様子





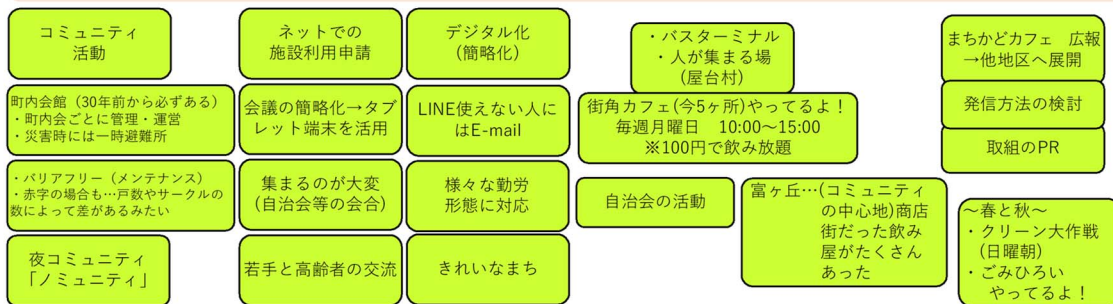
## 地域のつながりと暮らしやすさが続くまち

西部地域は、・・・

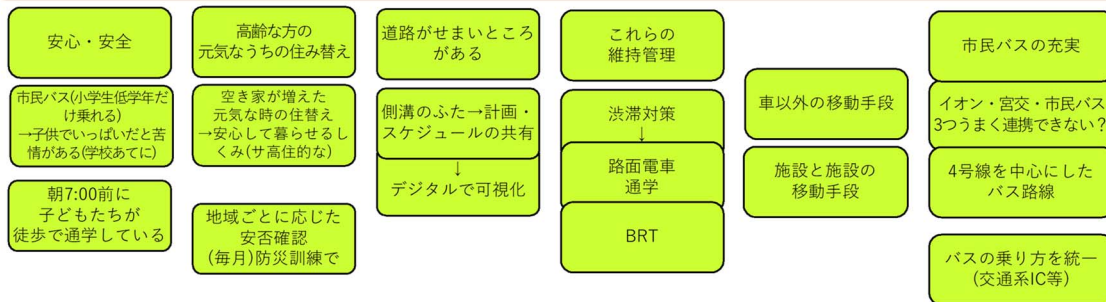


### < まちづくりの目標（案） >

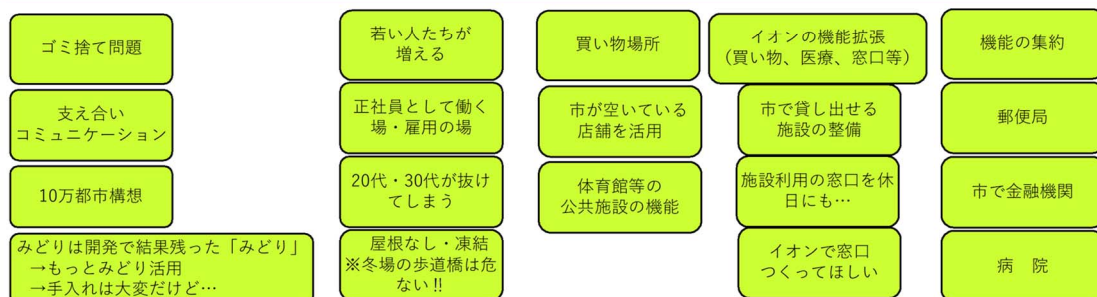
#### 目標1：快適な生活環境と豊かな活発な地域コミュニティの維持



#### 目標2：安全で快適に移動できる交通環境の確保



#### 目標3：暮らしを支える都市機能を維持・充実



③ 東部地域

説明の様子(市、宮城大学佐々木准教授)



ワークショップの様子(Aグループ)



ワークショップの様子(Bグループ)



グループ発表の様子



## 都市とみどりが調和した豊かに住み続けられるまち

東部地域は、・・・

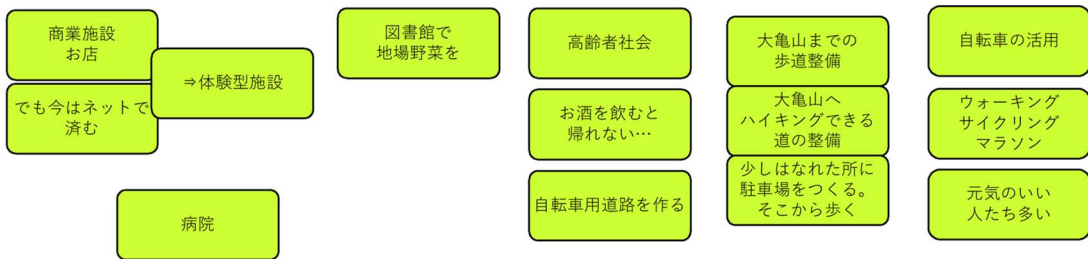


### <まちづくりの目標（案）>

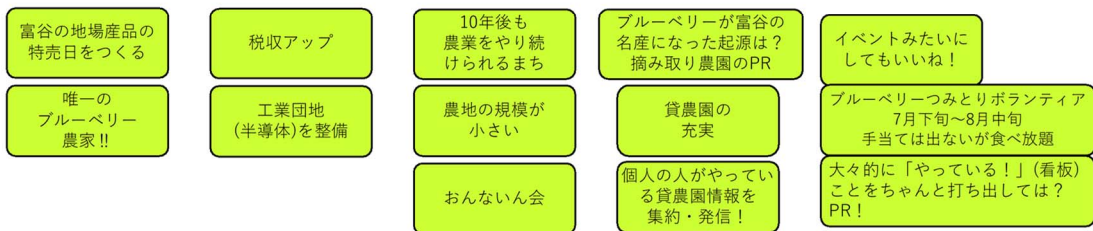
#### 目標 1：市街地と集落部の連携・循環による魅力創出



#### 目標 2：都市機能の充実及び交通サービスの向上



#### 目標 3：多様な地域産業の振興と雇用の場の創出





④ 南部地域

説明の様子(市、宮城大学佐々木准教授)



ワークショップの様子(Aグループ)



ワークショップの様子(Bグループ)

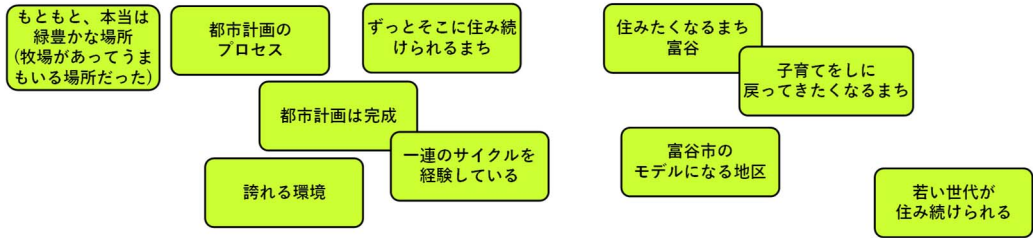


グループ発表の様子



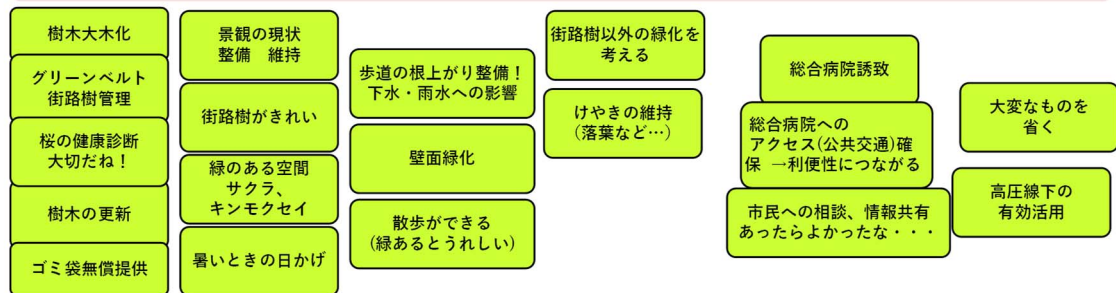
## 豊かな都市生活と美しい街並みを楽しめるまち

南部地域は、・・・

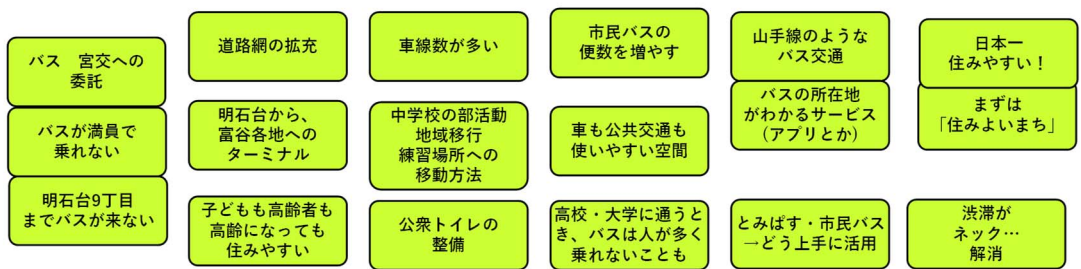


### <まちづくりの目標（案）>

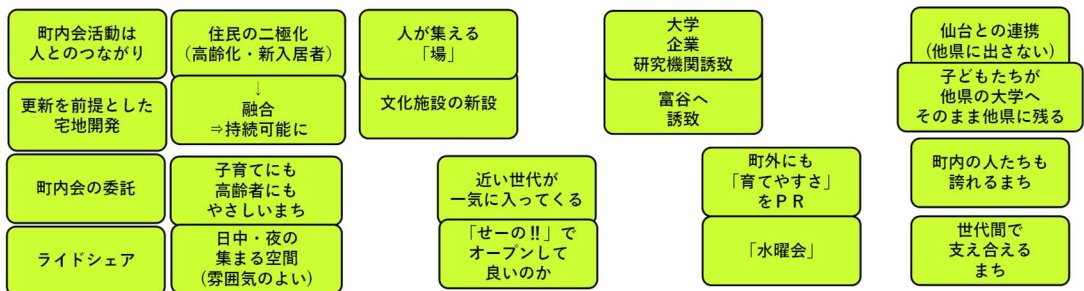
#### 目標1：魅力的な都市景観と利便性の高い生活環境の維持、向上



#### 目標2：安全で充実した交通環境・サービスの確保



#### 目標3：持続可能な地域コミュニティの確保



## (5) 小学生との意見交換

本マスタープラン策定にあたり、市内の小学校と連携し、以下の内容で小学生との意見交換を実施しました。

1. テーマ：富谷市の未来のまちづくりについて語り合おう

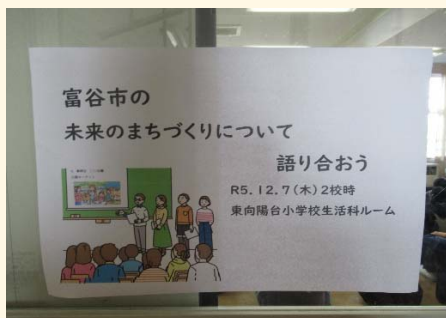
2. 目的：小学生が調べ・考え・まとめた「今後の自分たちのまちづくり」に関する研究発表を聞き、対話することを通して、子どもならではの意見を本マスタープランに取り入れるとともに、将来を担う世代のまちづくりに関する意識醸成を目的として意見交換を実施したもの。

3. 日時：令和5年12月7日（木）9時30分～10時15分

4. 場所：東向陽台小学校

5. 参加者：東向陽台小学校 6年生 107名、校長、担任  
富谷市役所 教育長、建設部長、教育総務課長、事務局

### 研究発表、意見交換の様子





## 6年1組 代表グループの発表

### 誰もが安心・安全に暮らせる町

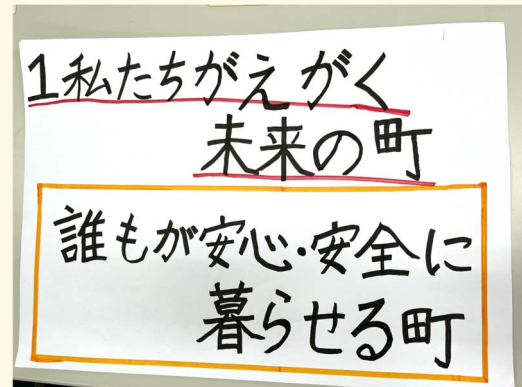
#### ○提案の背景

現状の身近な危険

⇒道路のカーブミラーや街灯が少ない

#### ○具体的な提案

- ・ 2面カーブミラーの設置
- ・ 街灯のLED化
- ・ 節電、夜間外出時の注意



## 6年2組 代表グループの発表

### 食を通して人々がつながり地産地消できる町

#### ○提案の背景

市内の農業生産額が減少傾向

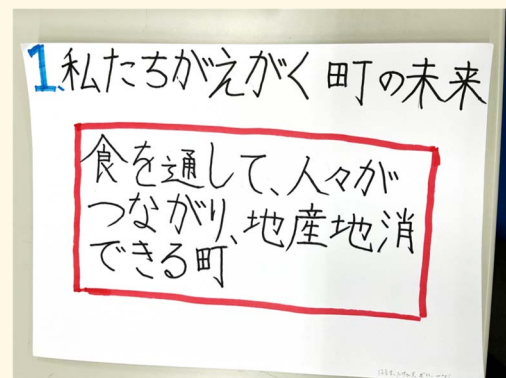
⇒地産地消の促進が重要

#### ○具体的な提案

富谷の食材を使った伝承料理教室の開催

⇒地元食材の利用促進

⇒生産者の出荷手間減少



## 6年3組 代表グループの発表

### 若者が集まる自然と調和する町

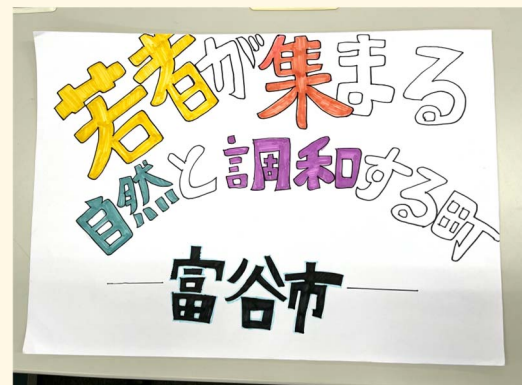
#### ○提案の背景

富谷市も将来的に少子高齢化が進展

⇒若者が住みたくなるまちづくり

#### ○具体的な提案

- ・ キャンプ施設やツリーハウスの設置
- ・ 特産品を活かした施設づくり
- ・ 収穫体験、スイーツ販売、SNS 映え



### 意見交換の様子（○小学生、●富谷市）

○地下鉄ができる予定はありますか？

●現在、地下鉄を含めた新たな公共交通の検討を行っています。新たな公共交通の実現には時間がかかるため、短期的にはバスの利便性向上などを検討しています。

○障がいの有無に関わらず遊べるインクルーシブ公園を増やしてほしいです。

●遊具更新の際に、町内会に相談しながら、高齢者や障がい者の方々が使用できる遊具の導入を検討していきます。

○歩道がボコボコしている箇所があるので、綺麗にしてほしいです。

●街路樹の根による影響があると思います。緑による良好な景観と、道路の安全性が両立できるように努めていきます。

○成田周辺の道路渋滞がもう少しスムーズになればよいと思います。

●警察など関係機関との調整、バス利用の促進、道路の改良など、いろいろな側面から検討していきます。

### 意見交換後の小学生の感想

意見交換会に参加した児童のみなさんから、感想文をいただきました。掲載スペースの関係上、一部となりますがご紹介します。

○大亀山森林公園でツリーハウスを作っていると聞いてうれしかったです。完成したら家族で遊びに行ってみたいです。

○地下鉄は今すぐにできるものではないということがわかりました。バスなどによって交通がもっと良くなることを期待しています。

○富谷市の街灯がすでにLED化されていると聞いて、すごいなと思いました。

○障がいを持った方も含めて、安心して遊べる公園があるといいな。

○みんなが住み続けたい町にするために、私たちができることを協力していきたいです。

○まちづくりについて、自分の考えを持つことが大事だと思いました。



## (6) 用語集

### あ行

#### ■インフラ

インフラストラクチャーの略語で、道路や上下水道などの基盤施設。

#### ■営農型太陽光発電事業

一時転用許可を受け、農地に簡易な構造でかつ容易に撤去できる支柱を立てて、上部空間に太陽光発電設備を設置し、営農を継続しながら発電を行う取組。

### か行

#### ■街区公園

公園を中心に半径 250 メートル程度の範囲に居住する人々の利用を目的とする小規模な公園。

#### ■家屋倒壊等氾濫想定区域

洪水時に家屋の流出・倒壊をもたらすような氾濫が発生するおそれがある区域。

#### ■カーボンニュートラル

二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの「排出量」から、植林、森林管理などによる「吸収量」を差し引いて、合計を実質的にゼロにすること。

#### ■急傾斜地崩壊危険区域

急傾斜地の崩壊から住民の生命を保護するため、がけの勾配が 30 度以上で、かつ高さが 5 m 以上のがけ地のうち、一定の行為を制限する必要がある土地について「急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律」に基づき都道府県知事が指定した区域。

#### ■緊急輸送道路

災害直後から、避難・救助をはじめ、物資供給等の応急活動のために、緊急車両の通行を確保すべき重要な路線で、高速自動車国道や一般国道及びこれらを連絡する基幹的な道路を対象に都道府県が指定する。

#### ■近隣公園

公園を中心に半径 500 メートル程度の近隣の住民を対象として、休養・散策に供する公園。

## ■区域区分

無秩序な市街化を防止し、計画的な市街化を図るため、都市計画区域を市街化区域と市街化調整区域に区分する制度である。都市計画法第7条で規定され、「線引き」とも呼ばれる。

## ■高次都市機能

都市機能のうち日常生活圏域を超えた広域の範囲を対象としてサービスを提供する機能。

## ■交通結節施設

複数あるいは異種の交通手段の接続が行われる場所や施設。

## ■国土利用計画

「国土利用計画法」に基づき、国・都道府県・市町村がそれぞれ国土の利用に関し必要な事項について定める計画。自然的、社会的、経済的、文化的といった様々な条件を十分に考慮しながら、総合的、長期的な観点に立って、公共の福祉の優先、自然環境の保全が図られた国土の有効利用を図ることを基本理念としている。

## さ行

### ■サイクルアンドバスライド

出発地点（自宅など）から自転車で最寄りのバス停まで行き、バス停付近の駐輪場に駐輪し、バスに乗り換えて目的地に向かうシステム。

### ■市街化区域

都市計画法第7条第2項で規定される、すでに市街地を形成している区域及びおおむね10年以内に優先的かつ計画的に市街化を図るべき区域。

### ■市街化調整区域

都市計画法第7条第3項で規定される、市街化を抑制すべき区域。

### ■市街地開発事業

総合的な計画に基づき、公共施設の整備に合わせた宅地や建築物の整備を行い、面的な市街地の開発を積極的に図るもの。都市計画に位置付けられる市街地開発事業には、土地区画整理事業、新住宅市街地開発事業、工業団地造成事業、市街地再開発事業、新都市基盤整備事業、住宅街区整備事業、防災街区整備事業がある。

### ■指定管理者制度

公共施設の維持管理等に民間事業者等が有するノウハウを活用することで、住民サービスの質の向上を図り、施設を効果的に活用するための制度。

### ■スマートモビリティ

自動運転等のデジタル技術を活用した交通・移動手段。

### ■市民農園（レクリエーション農園）

普段農業に関わってこなかった人々がレクリエーションや自家用野菜の生産などを目的として、小面積の農地を利用して野菜や花を育てるための農園。

### ■自立・分散型システム

個々の施設に小さな発電設備を分散配置し、平常時の効率的なエネルギー利用を図るとともに、災害時にも安定的なエネルギー供給を図るシステム。

### ■浸水実績

令和元年東日本台風により浸水や冠水がみられた地区。

### ■浸水想定区域

水防法第14条に基づき、想定し得る最大規模の降雨により河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域。

### ■ゼロカーボンシティ

2050年に二酸化炭素を実質ゼロにすることを目指す旨を公表する地方自治体。

### ■仙塩広域都市計画区域

行政区域を超えた一体の都市として総合的に整備、開発及び保全を行うために、仙台市、塩竈市、名取市、多賀城市、岩沼市、富谷市、松島町、七ヶ浜町、利府町、大和町、大衡村の6市4町1村において定められた区域。

### ■総合計画

市町村自治における最上位計画で、総合的かつ計画的なまちづくりの指針となるもの。

### ■地域計画（人・農地プラン）

「農業経営基盤強化促進法」に基づき、農業の将来のあり方や農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標などを明確にしたもの。

### ■地域地区

都市計画法で定められた土地の区分。都市計画区域内の土地を類別し、建築物などについて必要な制限を行うことによって、土地を合理的に利用する目的で定めるもの。具体的には用途地域、特別用途地区、高度地区、高度利用地区、都市再生特別地区、防火地域、準防火地域、風致地区などがある。

### ■地区計画

地区の特性に応じて、良好な都市環境の形成を図るために、必要な事項を定める地区レベルの都市計画。

### ■地方創生総合戦略

まち・ひと・しごと創生法により策定が定められている、国との適切な役割分担の下、市町村の実情に応じた施策の実施等が記載された、国の総合戦略を勘案した地方版総合戦略のこと。

### ■低未利用地

市街地内の農地、空宅地、平面駐車場など、周辺の利用状況に比べて利用の程度が低い土地。

### ■都市機能

都市の持つ様々な働きやサービス。商業、業務、工業、流通、居住などの機能をはじめ、教育、文化、芸術、交流、娯楽、政治、行政などの都市におけるあらゆる活動主体の多様なニーズに対応する機能の総称。

### ■都市計画

都市計画法第 4 条で規定される都市の健全な発展と秩序ある整備を図るための土地利用、都市施設の整備及び市街地開発事業に関する計画。

## ■都市計画基礎調査

都市計画法第 6 条に基づき、都市における人口、産業、土地利用、交通などの現況及び将来の見通しを定期的に把握し、客観的・定量的なデータに基づいた都市計画の運用を行うための基礎となるもの。

## ■都市計画区域

都市計画法第 5 条に基づき都道府県が指定する、一体の都市として総合的に整備し、開発し、及び保全する必要がある区域。本市全域は、仙塩広域都市計画区域に属す。

## ■都市計画区域の整備、開発及び保全の方針

決定された都市計画区域ごとに、都市計画の目標、土地利用、都市施設の整備及び市街地開発事業に関する主要な都市計画の方針を策定したもの。「都市計画区域マスタープラン」とも呼ばれる。

## ■都市計画公園

都市計画法第 11 条第 1 項第 2 号により、都市計画に定めることのできる施設の 1 つ。緑地が環境保全や住民の健康、文化的な生活に欠かせないものであるという観点から、都道府県や市町村が計画を定め、整備する公園。

## ■都市計画道路

都市計画法第 11 条第 1 項第 1 号により、都市計画に定めることのできる施設の 1 つ。ルート、幅員などを決定し、計画的に配置した道路。

## ■都市施設

道路、公園、下水道等、都市機能の確保のために必要なまちづくりの骨格となる施設。このような施設のうち必要なものを都市計画決定している。

## ■土砂災害警戒区域

「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律」に基づき都道府県知事が指定する急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域であり、危険の周知、警戒避難体制の整備が行われる。

## ■土砂災害特別警戒区域

「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律」に基づき都道府県知事が指定する急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、建築物に損壊が生じ住民等の生命又は身体に著しい危害が生ずるおそれがあると求められる区域で、特定の開発行為に対する許可制、建築物の構造規制等が行われる。

## ■土地区画整理事業

健全な市街地として整備するために、土地所有者が土地の一部を提供しあい、道路、公園、下水道などの公共施設を総合的に整備するとともに、敷地の利用を増進するため個々の宅地を整然と道路に面するよう、区画形質の変更を行う事業。

## な行

### ■農業振興地域

「農業振興地域の整備に関する法律」に規定する区域で、市町村が将来的に農業上の利用を確保すべき土地として指定する区域。

## は行

### ■パーク・アンド・ライド

自宅から自家用車で最寄りの駅またはバス停まで行き、自家用車を駐車させた後、バスや鉄道などの公共交通機関を利用して、都心中心部等の目的地に向かうシステム。

### ■ビッグデータ

デジタル化の進展やネットワークの高度化等により、位置情報や行動履歴、インターネットやテレビでの視聴・消費行動等に関する情報、また小型化したセンサー等から得られる膨大なデータ。

### ■フィーダー交通

バスの停留所、鉄軌道駅、海港及び空港において、地域間公共交通ネットワークまたは都市内基幹公共交通と接続して支線として運行している公共交通。

## ま行

### ■面整備

建築物等の建設や公園等の整備を目的に土地を整地し、一体的にまちを整備すること。

## や行

### ■遊休地

土地の取得後、適正な利用が図られていない土地のこと。

### ■用途地域

都市計画法第8条第1項に規定する地域地区の1つであり、都市の将来像を想定した上で、都市内における住居、商業、工業その他の用途を適切に配分することにより、機能的な都市活動の推進や良好な都市環境の形成を図るもの。市街地を13種類の地域類型のいずれかに指定し、建築物の用途、密度、形態等を制限する。

## ら行

### ■緑地環境保全地域

「自然環境保全法」及び「都道府県条例」に基づき、自然環境の保全や整備、生物の多様性の確保のために指定する地域。

## 英字

### ■DX（デジタル・トランスフォーメーション）

デジタル技術の革新によって、社会が大きく様変わりしていくこと。DXの技術として、AI（人工知能）やIOT、5Gなどが活用されている。

### ■HEMS

「Home Energy Management System」の略で、家電製品や給湯機器をネットワーク化し、表示機能と制御機能を持つシステム。

### ■MaaS

「Mobility as a Service」の略で、鉄道やバスといった公共交通のみならず、タクシー、レンタカー、シェアサイクルなども対象に、検索方法やルート案内、支払い方法を一元化し、移動全体を一つのサービスとして提供し、使いやすくなる考え。

### ■PFI

「Private Finance Initiative」の略で、民間の資金と経営能力・技術力（ノウハウ）を活用し、公共施設等の設計・建設・改修・更新や維持管理を行う公共事業の手法。

## ■PPA モデル

「Power Purchase Agreement」の略で、電力販売契約という意味で第三者モデルともよばれている。企業・自治体が保有する施設の屋根や遊休地を事業者が借り、無償で発電設備を設置し、発電した電気を企業・自治体が施設で使うことで、電気料金とCO<sub>2</sub>の排出を削減できるサービス。

## ■ZEB

「Net Zero Energy Building」の略で、快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物。